

# 天下をとつていた明智の血脉

信原病院・バイオメカニクス研究所院長

信 原 克 哉

君 御腹 御台所 駿河  
大納言忠長公

同

二男

国松

がある。つまり家光は父(家康)のあとを継ぐ身分である。このことが、書かれて

るといふことが、後、四年四月二十日、家光が薨去し、日光東照宮横の大猷院に葬られる。一方、

秀忠とお江の方は家光を

秀忠を祀る社院がそこにな

り、家康は深く恩義を感じ

ていなかつたろうか。その

慶長九年七月、秀忠の摘

このような人物を養うのも

が「竹千代君 御腹 春日局」と明記されている。こ

の国松を推していたが、そ

いのが不思議である。

男竹千代が生まれ、高い教

君恩に報じるためと信長に

れはお福が世間でいわれて

それを悲しんだ春日局が家康

(明智光秀公顕彰会会員)

養と英才高い斎藤お福が幕

言訳したため勘気に触れ、

いる乳母ではなく、実母と

に直訴したという記録が、

府に乳母として採用された。

譽を掴まれて引き倒され鬼

いうことの証左であろう。

やはり日光山輪王寺に残さ

これは事実だろうか。登用 気迫る一時があつたと「陰

に際してお福は夫正成を離 德太平記」に書かれている。

利三は本能寺の変と長宗我

家康がわざわざこのような

遺文を残したわけは、家光

別し、子供達と別れるなど

利三は本能寺の変と長宗我

多くの苦難を味わっている。

家康が、家光を「お前はわ

ある。また利三の母は明智

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

光秀の妹という背景もある。

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

うとした、ということ。

幼い頃、丹波黒井城や美濃

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

清水城にいたが、成長する

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

につけ書道・歌道・香道な

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

ど公家の作法を修め、三条

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

西公国に養育されたという。

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

おそらく稀代の美形であつ

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

たろう。

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

利三は光秀の名臣である。

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

稲葉一鉄と衝突したため

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

秀に身を寄せたが、光秀が

が仕えたのは秀忠ではなく

とを考えられる。実際にお福

が仕えたのは秀忠ではなく

秀忠公御嫡男 竹千代

が仕えたのは秀忠ではなく

と書かれた家光自筆の短冊

君 御腹 春日局 三世

が仕えたのは秀忠ではなく

と書かれた家光自筆の短冊